

公益財団法人 南信州・飯田産業センター

課題解決
事例

試験サンプル(SUS403F)の着氷試験について

相談内容

株式会社ABCD

航空機装備品に用いられる摺動部品と同じ材質でほぼ同じ大きさのサンプルを用いてDO-160G Sec.24 CategoryBに従って、着氷試験を実施して、試験サイクルの検証をして欲しいとの相談があった。

支援内容

【対応】依頼試験

サンプルを着氷試験装置(H27補正地方創生交付金で導入)にセットしてサイクル試験を実施した。

支援結果

1サイクルの試験時間や温度・湿度・気圧の波形の検証ができ、製品試験へのフィードバックを行うことができた。



ここがポイント！



製品の試験を行う前に、検証試験を行うことは、試験結果の検証に有効である。

【担当】(公財)南信州・飯田産業センター 技師 木下 久 (連絡先:0265-52-1630)